

「今後の大戸川治水に関する勉強会」全般に対していただいたご意見・ご質問

No.	ご意見・ご質問	滋賀県の回答
1	<p>9/6の北海道地震で北海道電力の泊原発の冷却用電源が喪失し、かろうじてディーゼル発電による冷却で、小康状態ではある。関西電力の大飯原発が再稼働しているが、非常時の冷却用電力確保のためにも水力発電が必要と考える。治水専用ダムは全く無駄であるので、水力発電も併設して欲しい。多目的ダムの方向に戻って欲しい。</p>	<p>大戸川ダムは国が計画しているダムですので、いただいたご意見については国にお伝えさせていただきます。</p>
2	<p>大戸川ダムに合わせて、草津川の整備を行い、大戸川ダムが洪水により越流する水量の一部を草津川経由で、琵琶湖に放流する。 また、桐生および草津地区の農業用水路および上水道に活用する。 現状では、琵琶湖からの水をポンプアップで山間部の集落に利用しているのは、不合理と思いますが。</p>	<p>勉強会では河川整備計画に位置付けられた事業を対象に検証しておりますので、ご提案の内容は検討対象外とさせていただきます。</p>
3	<p>大戸川ダムが整備されることによる瀬田川洗堰の操作への影響について大戸川ダムがない現状においての問題点をまず整理することが大事と考えます。</p> <p>平成25年台風18号では桂川では堤防越水が生じそれを受け緊急治水対策が実施されているが、宇治川でも宇治橋上流区間だけでなく下流区間も含め広範囲でHWLを越える出水となり、沿川で漏水も発生し、破堤の危険性があった。この時、天ヶ瀬ダムは予備放流を行わず、異常洪水時防災操作を実施している。</p> <p>○ 大戸川ダムがあれば、宇治川の水位は如何であったか、</p> <p>大正6年の淀川右岸の大塚切れや昭和28年台風13号による宇治川向島地区の破堤では、堤防復旧工事のため洗堰からの放流量を制限し、滋賀県と下流及び河川管理者間で洗堰からの放流をめぐり調整が続いた。</p> <p>大戸川ダムの建設により宇治川や淀川の治水安全度を上げることが瀬田川洗堰の操作に大きな効果をもたらします。</p>	<p>平成25年台風18号による洪水については本勉強会で検討させていただきました。結果については、第2回および第3回の結果をご覧ください。</p> <p>勉強会では大戸川ダムが滋賀県内に与える治水の効果や影響を検証しておりますので、宇治川等、下流に与える影響については本勉強会の検討対象外とさせていただきます。</p>

4	<p>大戸川流域に与える大戸川ダムの効果</p> <p>平成25年台風18号では大戸川に並行した主要地方道大津信楽線が長期間通行止めとなった。ダム建設に伴い現在行われている付け替え道路が完成した場合には、このような道路災害の危険性は軽減されると考えるが如何か、またその効果を評価できないだろうか。</p>	<p>一般論として、付け替え道路が整備されることにより通行規制のリスクは現状より軽減されると考えられますが、勉強会では大戸川ダムが滋賀県内に与える治水の効果や影響を検証しておりますので、付け替え道路の効果は検討対象外とさせていただきます。</p>
5	<p>滋賀県には、平成20年12月当時、「琵琶湖淀川水系問題特別委員会」が設置されていました。その第2回委員会(平成20年12月19日)の資料の中に、次の「大戸川の治水対策案比較表」がありました。</p> <p>この表を見ますと、ダム+河川改修を実施してもなお床上浸水戸数が62戸残ります。この62戸についての対応を如何にするかについても、本勉強会で検討をお願いします。</p> <p>また、国の事業とはいえ大戸川ダム建造に480億円投入しても浸水家屋数は16戸しか減少しない(河川改修のみ実施とダム+河川改修を実施の比較)ことについての評価も是非お願いします。</p>	<p>第2回勉強会において、河川改修+ダム整備をしても内水氾濫による浸水リスクが残ることが明らかとなりました。このようなリスクに対しては、リスクの周知や土地利用の工夫など、流域治水における「そなえる」「とどめる」対策のさらなる推進が必要と考えております。</p> <p>大戸川ダムは、淀川本川の洪水を安全に流下させることを目的とした施設ですので、滋賀県内での効果や影響を検証する本勉強会では費用便益は検討対象外とさせていただきます。</p>
6	<p>(5)瀬田川洗堰操作へ与える影響の検証に関して</p> <p>実際の検証として、大戸川ダムでの洪水調節が琵琶湖沿岸の治水への影響を直接あるいは間接的に評価するような検証が行われると推察します。その場合、併せて琵琶湖沿岸の治水への瀬田川洗堰全閉操作など洗堰操作の影響も検証していただければ幸いです。</p> <p>多くの県会議員の先生が出席されているのは大戸川や瀬田川沿川だけの話でなく琵琶湖沿岸治水を気にされているためでしょう。</p> <p>また今後の検証課題として、琵琶湖沿岸治水対策の現状と今後の見通しについてもこのような会で検討していただくことを提案します。</p>	<p>第3回勉強会において、大戸川ダムが瀬田川洗堰操作に与える影響の検証を行いました。また、同勉強会では琵琶湖水位への影響についても検証を行いましたので、検証結果をご確認ください。</p> <p>また、勉強会では、大戸川ダムが滋賀県に与える効果と影響を検証しておりましたので、琵琶湖沿岸治水の現状等については本勉強会の検討対象外とさせていただきます。</p>